

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

多用途で広々としたインテリア

インテリアデザインは、ダッシュボードとドアを幾何学的に統合することで、精緻さへのこだわりを際立たせています。クリーンなラインと明確に定義された表面が、秩序と集中感を生み出しています。エアベントなどの細部はあえて背景に溶け込むように設計されていますが、ユーザーインターフェースから電動調整ができるダイナミックな制御機能により、実用面での大きな魅力となっています。キャビンはクリーンなデザインが魅力で、あらゆるシーンに対応できる広さを備えています。Audi Q7 は乗員を第一に考え、これらの特徴を細部に至るまで融合させています。

Audi Q7 では初めて、3 種類のシートバリエーションが用意されました。標準装備は 5 人乗りで、オプションで 6 人乗りまたは 7 人乗りを選択することが可能です。さらに、すべてのシートには部分的な電動調整機能が標準装備されています。5 人乗りおよび 7 人乗りモデルでは、2 列目のベンチシートに 3 つのチャイルドシートを並べて装着することができ、Audi Q7 のファミリーカーとしての実用性を強調しています。2 列目のシートは前後方向に電動調整可能で、シートバックは 65:35 の分割可倒式です。65%のセクションのうち、中央の 30%の部分は手動で折りたたむことができ、実質的に 35:30:35 に分割します。コンフォートエントリー機能により、2 列目に装着したチャイルドシートが 3 列目のシートへのアクセスを妨げることはありません。2 列目のシートは 65:35 の分割で前方に倒すことができますが、完全にフラットにはなりません。コンフォートエントリー機能は、MMI からか、もしくは C ピラーとトランクにあるボタンで作動させることができます。5 人乗りモデルのトランク容量は最大 806ℓ、後部座席を折りたたむと最大 2,075ℓ となります。7 人乗りモデルでは最大 722ℓ、後部座席を折りたたむと 1,980ℓ です。シート構成に応じて、フロントシートにはオプションでベンチレーション機能やマッサージ機能が用意されています。

オプションのスポーツシートプラスでは、ヘッドレスト下のライトが Audi Q7 のシートの質の高さをさらに際立たせています。これらは車両のロック時またはアンロック時に点灯し、車外からも確認することができます。フロントドアには、トリムに統合された光源による照明がオプションで装備されています。ダッシュボードとドアを縁取るライティングはインテリアの広がり強調し、アウディ MMI パノラマディスプレイの下やセンターコンソールの間接照明は、フローティング効果を生み出します。さらに、ダイナミックインタラクションライト (IAL) とよばれる、ダッシュボードの全幅にわたる LED ライトストリップが標準装備され、乗員と車両の間の対話をサポートします。IAL はまた、インテリアを演出したり、ウェルカム機能となったり、車両のロックとアンロックを視覚的に表示したりします。また、ターンシグナルを車内に表示してアウディバーチャルコックピットの表示を補完するなど、安全面でのサポートにもなります。

Audi Q7 には豊富なカラーと素材の組み合わせが用意されているため、お客様は多彩な選択肢のなかから自分好みにカスタマイズすることが可能です。表面を広くとることで、素材の魅力を最大限に引き出し、その高い品質基準は細かなステッチに至るまで明確に表れています。シートには新しくストーンベージュのカラーコンビネーションが加わり、タマリンドブラウンやパステルシルバーなども選択可能です。オプションのプレミアムテキスタイルパッケージには、アルパカファイバー (Alpaca fiber) に、ナチュラルカラーとストーンベージュのレザーという、ユニークな組み合わせが含まれています。ドアパネルトリムとダッシュボードの下部もアルパカファイバーで仕上げられています。車内全体を包み込むようなデコラティブアクセントが、Audi Q7 にエクスクルーシブな雰囲気を与えます。新しいインレイのオプションには、細かい木目のナチュラルなアッシュ材とシルクベージュ、ナチュラルなライム材とグレイブラウン、カーボンファイバー織の素材にバサルトグレーのアクセントという組み合わせが含まれます。Audi exclusive プログラムもまた、Audi Q7 をカスタマイズするための豊富なオプションを提供します。10 色の追加カラーに、さらにステッチカラーオプションが加わり、厳選されたデザインパッケージとともにラインアップを充実させています。

また、ステアリングホイールにはレザーのエアバッグカバーが標準装備され、ボディカラーとコーディネートされたコントラストステッチが施されており、フレッシュな印象を与えています。

インテリアの造形は、標準装備のパッセンジャーディスプレイと新設計の電動調整式エアベントの採用により、その完成度をさらに高めています。新しいセンターコンソールも、キャビンの他の部分と同様に機能が豊富です。スリムでブラックをアクセントにした帯状のパネルに最も重要な操作系を集約しています。その下には、Qi2.2 規格に準拠した 25W の充電スペースを備え、2 台のスマートフォンを充電することが可能です。充電スペースのエアフローが効率的に熱を逃がし、最適な充電速度を維持します。また、対応するスマートフォンはマグネットで固定され、滑りを防止します。さらに、フロントシートのバックレストカバーには有線の USB-C 急速充電を備えており、2 列目では最大 60W、3 列目では 100W の出力が可能です。アームレストの前方にあるカップホルダーには、より大きなボトルや水筒を収納することが出来ます。テールゲートは標準で電動式で、フットジェスチャーで操作可能です。さらに利便性を高めるため、リヤバンパー下に投影されるライトが足をかざす位置を示します。トランク側面に統合されたオプションのアルミニウムレールシステムにより、スライド式アダプターや調整可能なアンカーを用いて荷物を固定できるほか、カーゴネットを水平または垂直に配置して最大限の柔軟性を確保できます。この構造により、小物類の収納が容易になり、トランクには大きな荷物のためのスペースを確保することができます。3 列目のシートを使用する際は、ラゲッジコンパートメントカバーをカーゴフロアの下に収納することでスペースを効率的に活用することが可能です。

新しく、開放的なパノラマサンルーフ

第3世代の Audi Q7 においては、大型パノラマサンルーフに特別な重点が置かれています。車内に光りが降り注ぎ、3 列すべてのシートに開放感あふれる空間を創出して、乗員の快適性を一層高めます。新開発の機構により、ルーフ構造の薄型化を実現し、前席および後席のヘッドルームを拡大しています。さらにオプションとして、透明度の切り替え機能に加え、パーソナライズ可能なアンビエントライティングに連動して色が変わるガラスルーフィルミネーションを初採用しました。ルーフは 9 つのセグメントごとに透明度の切り替えが可能です。また、駐車時には、車外から車内が見えないよう、自動的に不透明状態へ切り替わり、再始動する時には、直前の設定が復元されます。

ガラスパネルに施されたパターンと 78 個の LED の組み合わせにより、車両インテリアに心地よいライティングを提供します。透明度の調整により、ゾーンごとに、光に満ちた明るいインテリアと効果的な遮光状態へと素早く切り替えることが可能です。標準のコーティングを施したラミネートガラスは、赤外線を反射し、紫外線を 99.5% 以上遮断します。これにより、従来のブラインドはもはや必要ありません。統合されたウィンドディフレクターによって、ルーフを開けた際の風切り音が低減されます。パノラマサンルーフは、ルーフモジュールのボタンまたは MMI から操作可能です。

パワフルで没入感のあるサウンドシステム

アウディは、4D サウンドを備えた最新の Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムにより、車内エクスペリエンスをさらに向上させています。これは、ヘッドレストスピーカーを備えた従来の 3D サウンドシステムを基盤とし、フロントシートに革新的なシートアクチュエーターを追加したものです。音楽を聴くだけでなく、身体で感じるような体験へと変える、没入感のあるパーソナライズされたサウンドエクスペリエンスの実現を目指しています。これにより、アウディはマルチセンサリーな車内エンターテインメントシステムにおいて先駆的な地位を確立しています。計 22 個のスピーカーによる最大 1,360W 出力での音楽を鑑賞できます。さらに、インタラクションライトは音楽のリズムにシンクロします。

ヘッドレストスピーカーでは、電話での通話、ナビゲーションの音声案内、およびサラウンドサウンドに対応します。従来のサラウンドサウンドと比較して、4D システムでは、車内に一体感を生み出し臨場感あふれる音響空間を作ります。Fraunhofer Symphoria®を統合することで、状況に合わせた最適なサウンドの分配が可能になり、常に最高峰のオーディオクオリティを提供します。

シートアクチュエーターは音楽とシンクロした微細な振動を生み出し、低音の迫力を一層高めます。これにより、まるでライブコンサートにいるかのような体験を提供します。没入感のレベルは個別のコントロールやプリセットで自由にコントロールでき、機能を完全にオフにすることも可能です。

コネクテッドで直感的なインフォテインメント

新型 Audi Q7 のインフォテインメントシステムは、さらに洗練され、よりユーザーセントリックになっています。曲面デザインと OLED テクノロジーを採用したアウディ MMI パノラマディスプレイは、アウ

ディバーチャルコックピットと MMI タッチディスプレイで構成されています。標準装備されたパッセンジャーディスプレイは、ドライバーの妨げにならないダイナミックプライバシーモードを備えています。オプションのヘッドアップディスプレイは、速度や制限速度、ナビゲーションの矢印などの重要な情報をドライバーの視界内に直接表示します。

アウディ アプリケーションストアでは、スマートフォンを使用せずに幅広いアプリを利用することができます。Audi Q7 の発売時には、音楽、動画、ゲーム、ナビゲーション、駐車場および充電、プロダクティビティ、天気、ニュースのカテゴリーに分かれたアプリが利用可能です。アプリケーションストアは継続的に拡充され、アプリのポートフォリオは各市場に合わせて最適化されます。

アウディ アシスタントは自己学習型の音声アシスタントで、多くの車両機能を操作することができます。車両機能の操作、目的地検索、天気予報の確認など、ユーザーの意図を自動的に認識します。アウディのシステムが一般的な質問に対応できない場合に限り、ChatGPT へ転送されます。すべての機能がアウディ アシスタントに統合されているため、ユーザーはシームレスな操作性を体験できます。さらに、オプションの純正ドライブレコーダーは、フロントウインドウ越しの映像を記録し、インシデント発生時の記録として活用できます。